

公明党議員団視察報告書

2018年2月13日

貝塚市議会議長 殿

参加者 中山 敏数
北尾 修
谷口美保子

【視察先】

1. 石川県小松市野田町 社会福祉法人 佛子園 「三草ニ木 西圓寺」

日時 平成30年2月5日(月) 12時30分～14時30分

視察内容 障がい者支援施設・高齢者介護施設・就労支援施設等の複合施設に
地域との交流も加えた運営についての視察

◎「三草ニ木 西圓寺」は寺院として1473年の創建来、地元の人たちから親しまれ、地域コミュニティの拠点となっていた。廃寺からの再生計画を足掛け3年にわたって進め、2007年に地域住民と共に障がい者も高齢者もすべての住民福祉に寄与できる施設として、新たに生まれ変わった。障がいのあるなし、老若男女にかかわらず、お互いの個性が尊重され持ち味が発揮できる、人にやさしい地域コミュニティの拠点施設を目指すという、ソーシャルインクルージョンの理念が込められている。

◎みんなが集える4つの機能 ①地域コミュニティセンター②福祉拠点③働く場④天然温泉「西圓寺」。この4つが相互に交わりあい、人と人が直につながり、支え合う地域コミュニティをつくっている。

◎その昔「お寺」は折節につけ日常的に町の人たちが自然と集まり、様々なことが行われる場所であった。野田町の住人同士が分け隔てなく共に支え合い、暮らしを営むための「拠り所」だったのである。最近では人と人との繋がりが希薄になり、地域の活動も少なくなってきた。「三草ニ木」ではかつて「お寺」が担っていた役割を見つめ直し、町民たちとともに手を携え、ともに楽しみながら、町おこしに貢献している。

◎お寺の本堂などを生かし、おしゃれな雰囲気再生修復してある。昼食時には一般の人たちも共に食事をとることが出来、障がい者の方が注文を取って下さり、和気あいあいとした雰囲気で誰もが集える場としての暖かさを感じた。

◎新しい施設として、日本初！地域密着型ウェルネス「GOTCHA」がオープン。お年寄り、若者、子ども、お父さん、お母さん、年齢や疾患、障がいの有無に関わらず、自分たちが生まれ育った場所で、すべての住民が様々な人と“ごちゃまぜ”に関わりながら、健康なまちづくりに取り組んでいきたいと開設された。

【感想】2時間程、視察させて頂く中で多くの方の暖かさに接することが出来ました。2月11日に10周年記念行事が控えていたため、細かい説明等は書面で頂きました。係の方が仕事の傍ら色々とお話ししてくださいました。また、利用者の方ともお話させて頂き、このような複合施設の必要性を深く感じました。元がお寺で、社会福祉法人を立ち上げ、近くに次々と施設を作っていられました。石川県内で広がりつつあるこの社会福祉法人は素晴らしいと感じました。行政では出来ないことを社会福祉法人が担ってくれることは必要です。行政が出来ることも必ずあります。地域包括ケアを進めていく上で、大切なことを学ぶ事が出来ました。

【視察先】

2. 石川県金沢市役所

日時 2月6日(火) 9時30分～11時30分

視察内容 起業支援制度（はたらこう課）について

面談者 経済局 商業振興課 主査 堤 宏平 氏

起業支援の取組み概要

金沢市では市内で起業したい方に対して、検討期・準備期・創業期・育成期と、相談者の段階や業種に応じて、関係機関と連携しながら起業を支援している。

検討期では、起業支援相談窓口を設置し、段階に応じた支援情報を提供。商業活性化アドバイザーを派遣し、直面する様々な課題の解決を支援している。

準備期では、起業支援PRプロジェクト（はたらこう課）や、かなざわ女性起業塾、コミュニティビジネス起業塾などで学びの場を提供している。

創業期・育成期では、コミュニティビジネス支援事業や起業チャレンジ若者支援事業で経営支援をしている。

起業支援PRプロジェクト（はたらこう課）の取組みについて

平成28年度から金沢で起業する人を増やす目的でスタート。専用ウェブサイトを開設し、市内で活躍する若手起業家をロールモデルとして起業ストーリーなどを紹介したり、起業家が知合いの起業家をリレー方式で紹介したり、支

援制度や起業に関するニュースを掲載して情報発信をしている。

また、フリーペーパーを発行し、ウェブサイトよりもさらに深く掘り下げた記事を掲載し、大学など教育機関、起業支援団体、銀行、ショップ、セミナーや首都圏の移住相談イベントなどでも配布している。

交流イベントを実施し、金沢市内の起業家と起業を志す方との交流会を随時実施し、起業家と触れ合える場づくりを行っている。

これらのプロジェクトを金沢に支社を開設した広告制作会社に運営委託をし、民間の専門家の力で行政の弱点を補完している。

効果としては、起業相談件数の大幅増、特に30代の若年層の掘り起こしと、起業間ネットワークの展開も進んでいる。

その他の起業支援策

①かなざわ女性起業塾

女性ならではの視点や特性を活かした起業の方法や経営を学ぶ。

②コミュニティビジネス起業塾

地域密着のビジネスに必要な基本的知識やノウハウを、ワークショップ形式で学ぶ講座。

③コミュニティビジネス支援事業。

持続可能なビジネスの手法を活用して、地域課題の解決を図ることで地域を活性化させる事業。

④起業チャレンジ若者支援事業

金沢市の商店街で、起業を志す若者や開業して間もない若手起業家を支援する制度で、開業前後にかかる運転資金や家賃の一部を助成するとともに、経験豊富なアドバイザーを派遣してサポートすることで、未来の商店街を担う人材を育成。

感想：金沢市では若者の起業家を増やすことで、地域の活性化と商店街の空き店舗の解消を図っています。起業支援プロジェクトで民間のノウハウを生かすことで、若者向けに良いアピールになっていると思います。新幹線が開通したことで活気が出てきていることはありますが、貝塚市においても大変参考になる取組みでした。